

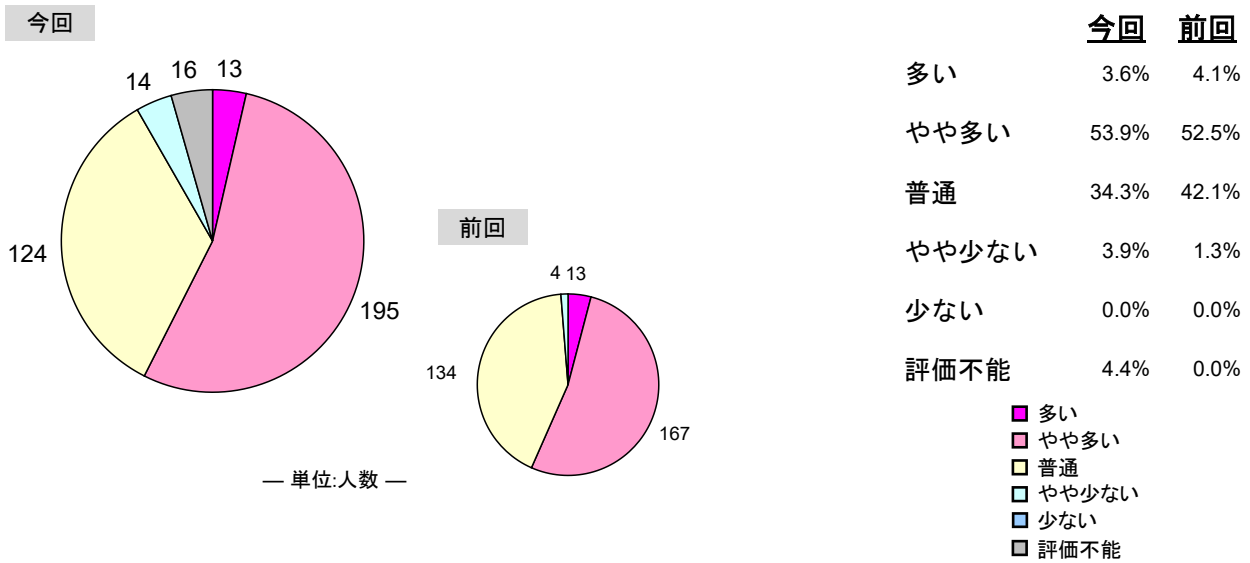
◆ ストレスの原因と考えられる因子

全体集計

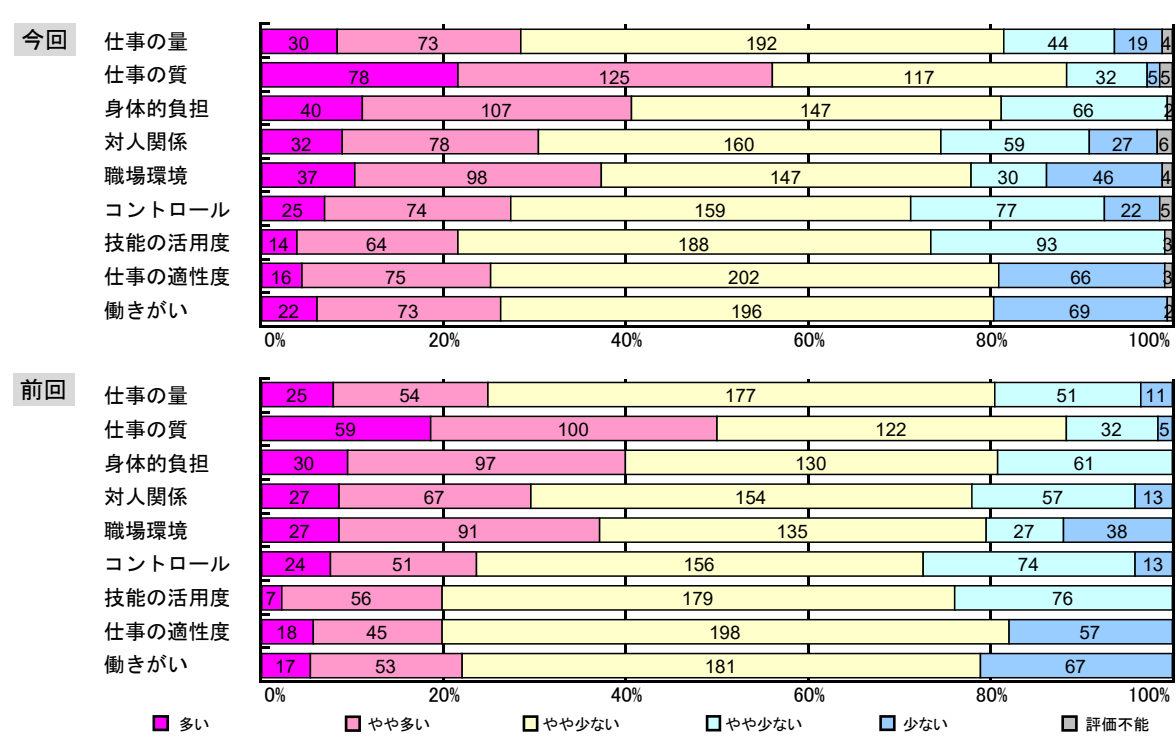
実施者数 362
(前回) 318

職場のストレス要因の負担がやや多いと感じている方が多くみられます。

ストレスの要因については、ここにとりあげられていない要因があることも考慮すべきです。今回の調査結果を参考にしながら、他の情報(健康診断の集計結果、職場巡視、従業員や職場上司からの聞き取りなど)も考慮して総合的にリスク評価を行うことが適切です。現場不適応感を自覚する従業員が早期に対処状態を確保できるよう対策して従業員の精神的健康状況増進、および企業の生産性向上に向けたマネジメントの検討をお考えください。



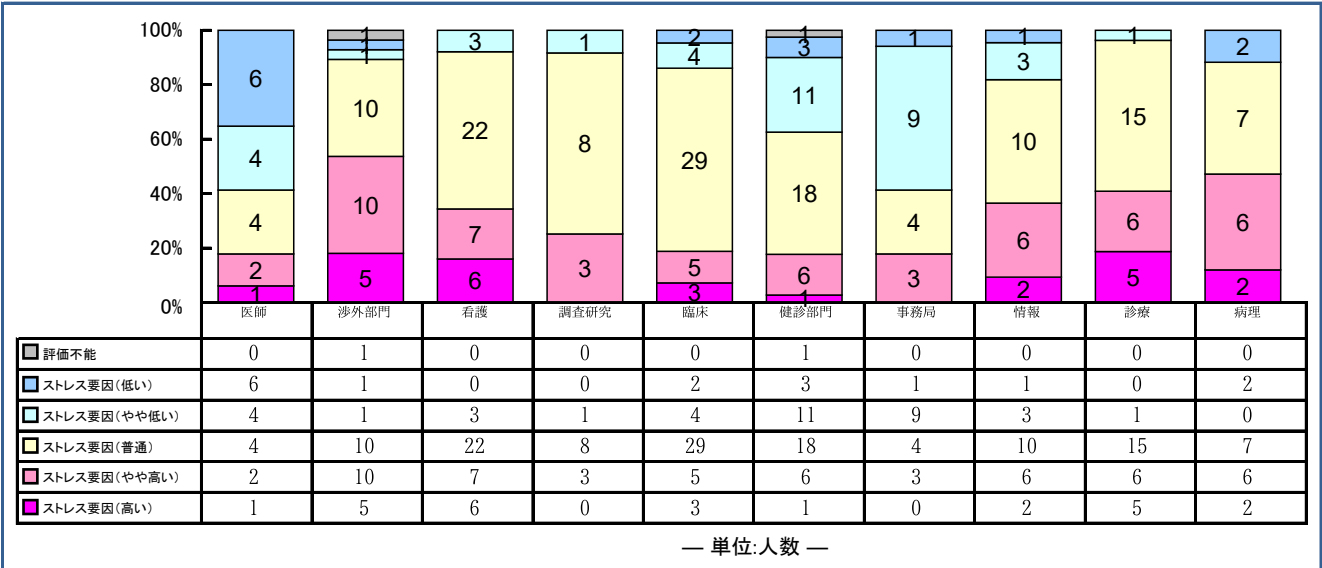
心理的な負担の原因



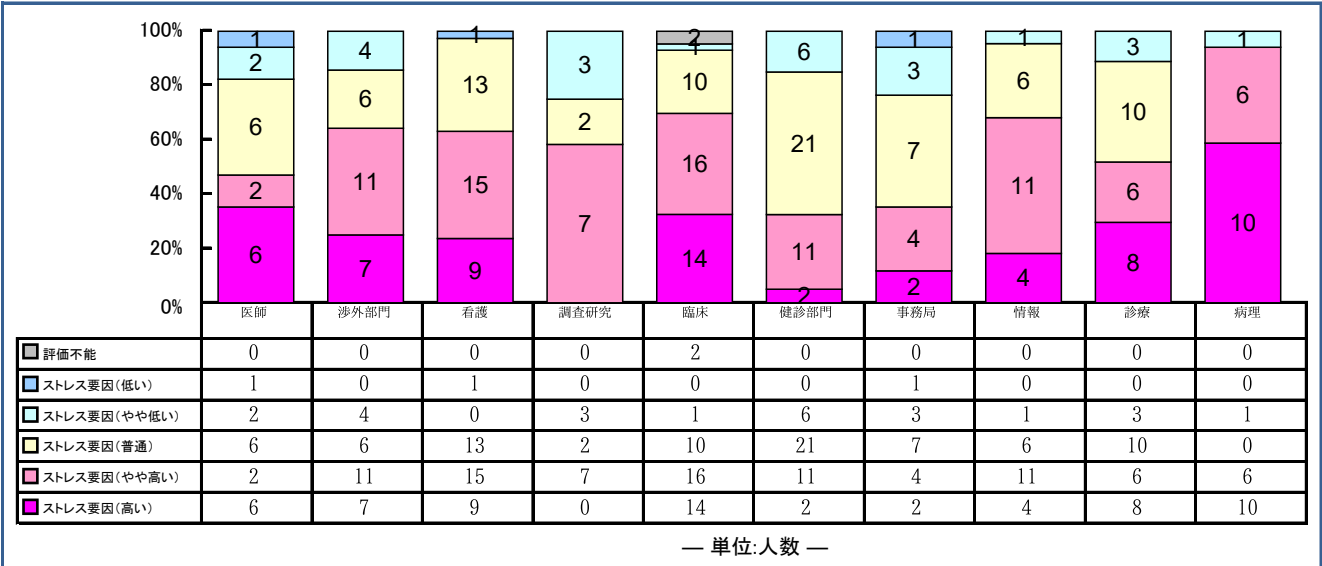
◆ ストレスの原因と考えられる因子

部門別集計

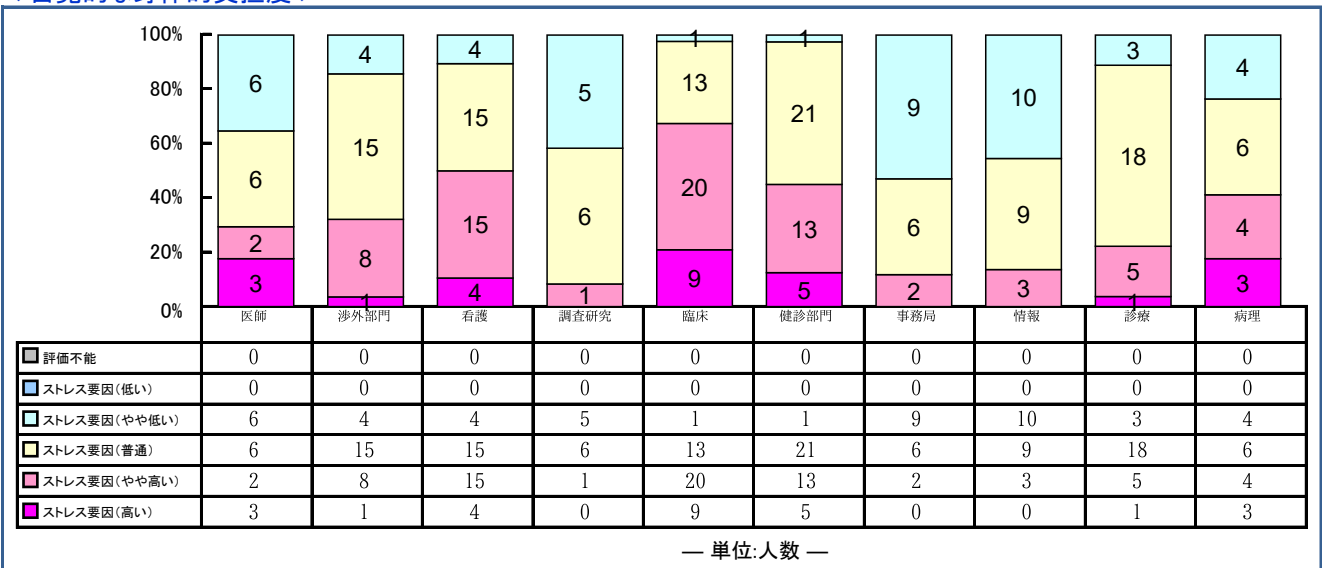
< 心理的な仕事の負担(量) >



< 心理的な仕事の負担(質) >



< 自覚的な身体的負担度 >



注) 回答者数が分析可能な回答者数に満たない部門は集計されません。

◆ 周囲からの支援

実施者数362

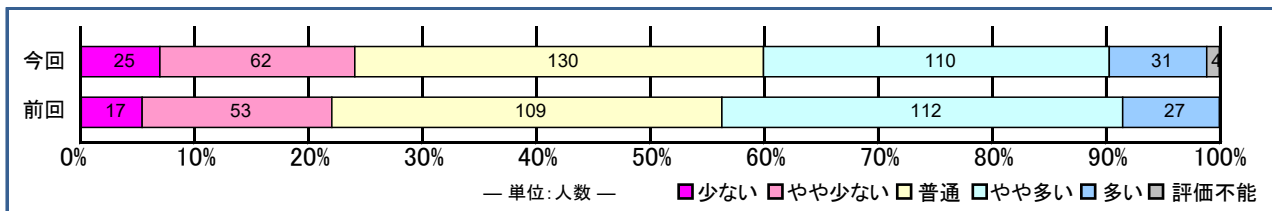
全体集計

(前回) 318

企業環境が厳しくなり、働く多くの方がストレスを強く感じています。さらに職場環境によってストレスを感じているのであれば、ますます心が重くなります。コミュニケーションの良好な職場と快適な職場環境はストレスを軽減し、一人ひとりの生産性を向上させることとなります。

部下や同僚のメンタルヘルス不調に気づくには、「本人の通常の行動様式からのズレ」に着目することが大切です。以前と比べて遅刻が多い、顔色が良くない、口数が少ない、身だしなみが乱れてきた、昼休みに一緒に食事に行かなくなった、仕事の能率低下やミスが目立つなどの徴候に気づいたら、一度時間を取ってゆっくり話を聴くことが大切です。

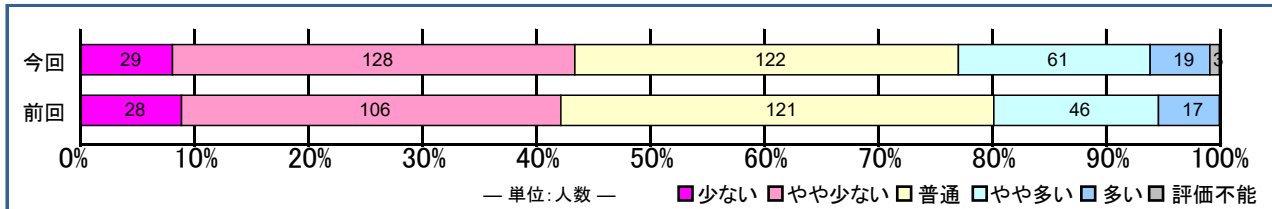
< 上司からの支援 >



	今回	前回
少ない	6.9%	5.3%
やや少ない	17.1%	16.7%
普通	35.9%	34.3%
やや多い	30.4%	35.2%
多い	8.6%	8.5%
評価不能	1.1%	0.0%

上司からの支援について、多くの従業員が多いと感じているようです。

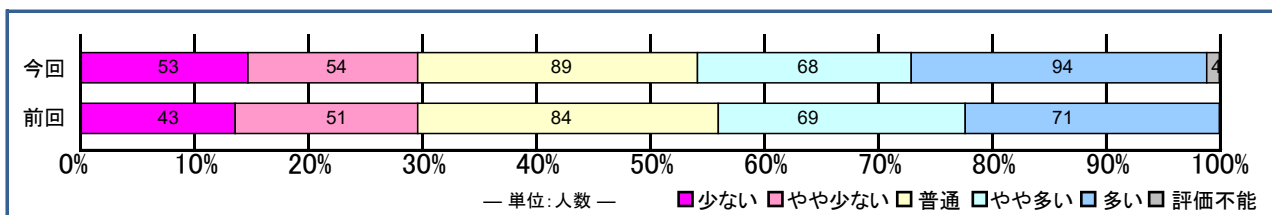
< 同僚からの支援 >



	今回	前回
少ない	8.0%	8.8%
やや少ない	35.4%	33.3%
普通	33.7%	38.1%
やや多い	16.9%	14.5%
多い	5.2%	5.3%
評価不能	0.8%	0.0%

同僚からの支援について、少ないと感じている従業員も見られますが、多くの従業員がまあまあだと感じています。

< 家族・友人からの支援 >



	今回	前回
少ない	14.6%	13.5%
やや少ない	14.9%	16.0%
普通	24.6%	26.4%
やや多い	18.8%	21.7%
多い	26.0%	22.3%
評価不能	1.1%	0.0%

家族・友人からの支援について、多くの従業員が多いと感じているようです。